

2021年度J2学年 オンライン授業総括

所感・概観～3学期生徒面談をふまえて～

※今年度オンライン期間…第Ⅰ期 4/26～5/15(第Ⅰ回考査まで)・第Ⅱ期 1/21～2/24(ウインターキャンプまで)

①最大のウィークポイントはモチベーションの維持の難しさ。

第Ⅰ期の後の考査の出来はおしなべてよくなかった。第Ⅱ期後は格段の改善があったが、おそらく、クラス替えを控えた学年最後の定期考査であることがモチベーションの維持につながったのではないかと考えている。

10数名～20名程度、オンラインでの学習に難のある生徒がおり、模試等でも最下位層が増加している傾向が見られる。月次報告本紙でも言及したが、よほどのことがない限り登校させ続ける生徒を年度当初あらかじめ決定しておく必要性を感じている。

②問題点の多くはiPadの技術的限界(とそれを教授者が知らないこと)に起因している。

黒板の見えづらさ→カメラの解像度とiPadの黒板からの距離

音が途切れる→マイクの集音能力の特性(ある程度の距離で途端に音が入らなくなる)に起因している(が、教員はあまりそのことに気付いていない)。

③ウインターキャンプの成功はオンライン期間があつてこそ。

第Ⅱ期の学年罹患生徒…4名(うち1人はウインターに参加できず) 学年教員…2名

ウインター後の学年罹患生徒…1名 学年教員…0名

登校していれば感染拡大していたのではないか。

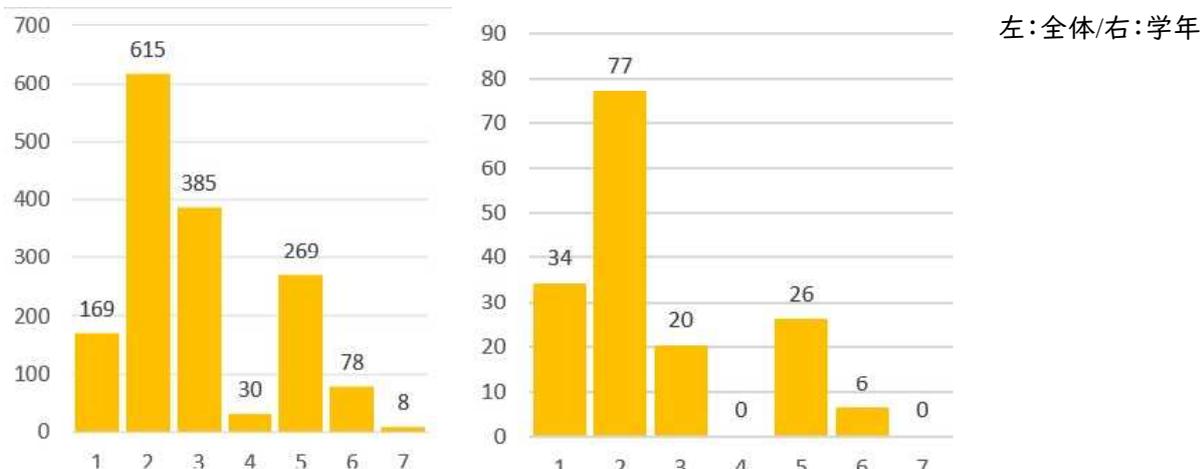
オンライン配信授業アンケート(3月実施)より

※詳細別紙。全体と有意な差のあるものについて詳述する。

①オンライン授業の音声の質

1 非常に聞きとりやすい 2 聞きとりやすい 3 やや聞きとりにくい 4 非常に聞きとりにくい

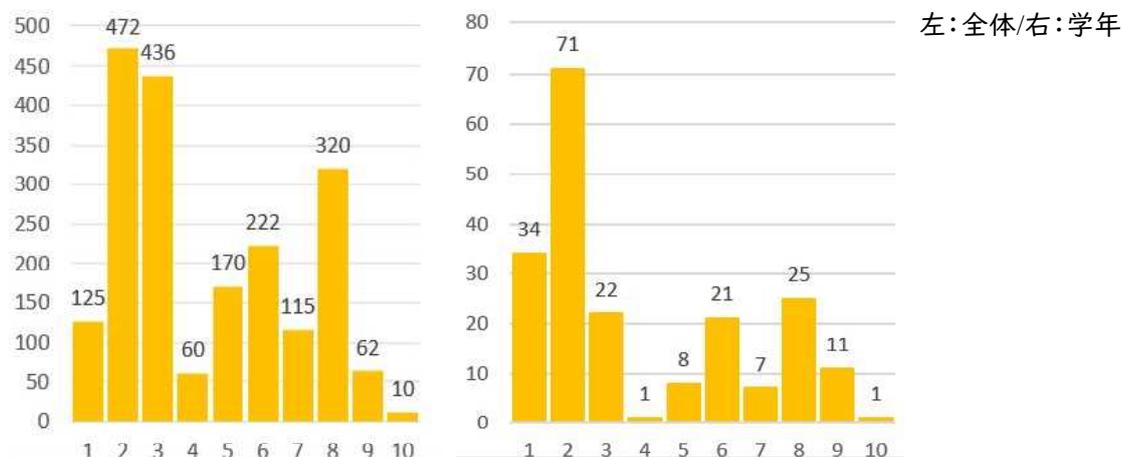
5 教師や教室の場所によっては音が小さく聞きとりにくい 6 音声が途切れて聞き取れないことが多い 7 その他



※3、4は有意に少ない⇒iPadと黒板に頼らない授業を展開してきたことに一定の成果が見られる。各教科の取り組みを全体に波及させていく必要も感じるが、個人の出費に頼る面もあるため難しいか。

②オンライン授業の板書の見え方

- 1 非常に見やすい 2 見やすい 3 やや見にくい 4 非常に見にくい
 5 板書の文字が読みづらい 6 使用する色によっては見にくい 7 時間帯によっては見にくい
 8 教師によっては見にくい 9 教室の場所によっては見にくい 10 その他



※こちらも3、4が有意に少ない⇒理由はおそらく①同様。

③80%登校or100%登校

	土はオンライン	土も対面
J 1	86%	14%
J 2	79%	21%
S 1	71%	29%
S 2	73%	27%
K 1	77%	23%
V 1	41%	59%
K 2	68%	32%

※生徒コメントを見る限り、体力面で楽という声が多く、それが要因なのであればオンライン派が学年が上がるにしたがって漸減していく理由としても納得がいく。

今後について・私見

①研修旅行・キャンプ前のオンライン期間は今後一層必要性が増すのではないかと。

前述内容に加え、コロナウイルスの収束までにはあと何回か感染拡大の波が来ると予測されている。感染症の歴史的にも、より感染力が高く、より重症化しにくい変異株の大流行を経て収束に至るとされており、今後も感染者数自体は増加することが見込まれる。

今回より大きい波が来た時に（世間から風邪として扱われるようになるまでは）研修旅行前の1週間程度の期間をオンラインで実施する可能性は今後むしろ増大すると考える。

②100%登校に踏み切ると、有事にスムーズにオンラインに移行できなくなる恐れがあるのではないかと。

現在も機材が消耗しつつあり、そのようなハード面からも、（個人的には大丈夫でも）教員集団内でのスキルの保持の面からも、100%登校には不安がある。